

天神川流域だより

第6号
2003年5月

編集・発行：天神川流域会議事務局 〒682-0018 倉吉市福庭町1-18 国土交通省倉吉河川国道事務所調査設計第一課
Tel 0858-26-6221 Fax 0858-26-6299 ホームページ http://www.kurayoshi-mitgo.jp/ E-Mail kurayosi@cg.mitgo.jp

去る平成15年3月5日(水)! 宮脇昭氏による、 講演：建設事業と森との共生を目指して ～エコロジー(生態学)の視点から～ が鳥取県立倉吉未来中心にて開催されました!!

平成15年3月5日(水)に行われた天神川流域会議の開催(※裏面関連記事)に合わせ、宮脇昭氏(横浜国立大学名誉教授、(財)国際生態学センター所長)による講演が開催されました。

天神川流域会議では、豊かな清流を取り戻すとともに、流域に多様な生態系を保全・回復することを目的に源流への植樹活動の広域化・活発化を進めています。これまでも「三朝温泉かじか蛙保存研究会」では、天神川流域で熱心に源流への植樹が実施されてきました。現在は「森と川と海は恋人プロジェクト(仮称)」立ち上げに向けた準備会が開催されているところです。

そこで、天神川流域会議では、これらの活動の参考となるような様々な知恵と経験とその成果を伺いたいと思い、今回の講演会が実現することとなりました。

宮脇氏は「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」を提唱し、日本だけでなく世界の森を再生させる活動を各地で行われている、植樹活動の大先輩です。

植えた私たちも命を懸けて育てていく」といったこれまでの経験とそこに懸けてきた情熱をご講演いただきました。

参加者の皆さんは話に圧倒され、引きつけられながら、「自分たちでももっと何か出来るかも!」という勇気を与えてくれる内容でした。



宮脇氏の講演に熱心に聞き入る参加者



力強く熱心に講演される宮脇氏

講演では、これまで宮脇氏が手がけられた豊富な森づくりの成功例を示しながら、森の再生の手法とそこに懸ける熱意を力強く熱心に話していただきました。

「幅1mの土地から森づくりができる!」、「植えられた木も命を懸けて生きていこうとしている、



今年度は、流域連携プロジェクトとして天神川流域での植樹活動を予定しています。

詳細はこの「天神川流域だより」で報告しますのでご期待下さい。

裏面もご覧ください⇒

第2回 天神川流域会議 が開催されました！ (※表面関連記事)

去る平成15年3月5日(水)に、第2回天神川流域会議が開催されました。

会議は天神川を軸とした上下流交流により、地域の歴史・文化を活かした特色ある流域をつくとともに、安全でうるおいのある親しみやすい天神川をつくることを目的として実施されています。

当日は、会員45名中30名が出席し、平成12年12月1日に発足して以来行われてきた、様々な活動の報告と今後の方向性が事務局から報告され、それに対し意見交換が行われました。



森本会長のあいさつ



会議風景

会員からは、メンバー追加についての意見やそれぞれの活動の紹介・協力呼びかけなどが行われました。

【内容】

- ・ 天神川流域会議会長 開会あいさつ
- ・ 役員改選
- ・ 活動報告
- ・ 意見交換
- ・ 倉吉工事事務所長 閉会あいさつ

流域の情報紹介

天神川 風のまつり 「凧あげ大会」が開催されました

去る平成15年3月16日(日)天神川風のまつり「凧あげ大会」が、山陰道青谷羽合道路の開通記念イベントの一環として実施されました。

朝9時から行われた受付に集まった参加者は、開催場所までシャトルバスに乗り込んで移動し、凧あげ大会に参加しました。



マイ凧をあげる子ども達もいました。

大会では、参加団体による大凧上げや、子ども達を対象にした凧作り教室、さらには家から持ってきた

会場ではおいしい豚汁も用意され、これもまた大人気でした。



平成15年5月25日 天神川水防演習を開催します

来る平成15年5月25日(日)、倉吉市東巖城町地先(竹田橋上流)で「天神川水防演習」を開催します。

水防活動とは、豪雨や台風等による洪水被害から、人命と財産を守り、被害を最小限にとどめるために行う活動のことを言います。

この度の演習では、参加団体による水防工法訓練のほか、人命救助訓練や避難訓練、物資輸送訓練を予定しています。

一般見学は自由(駐車場有り)ですので、是非見学において下さい。

